

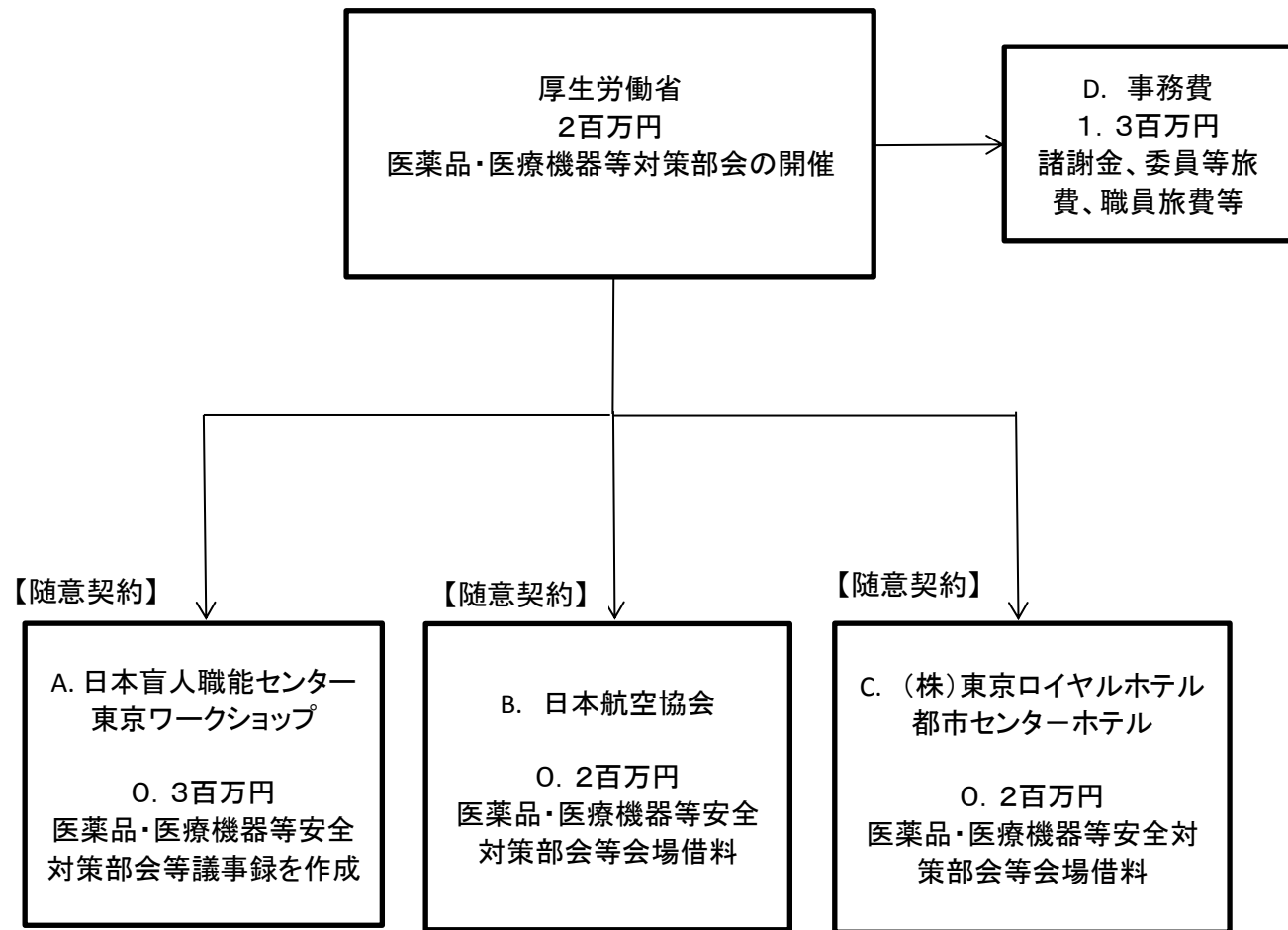
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		医薬品等医療安全対策事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成13年		担当課室	安全対策課		課長 俵木 登美子		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-8 医薬品等の品質確保、安全対策を徹底する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	医療安全推進総合対策(平成14年4月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医薬品・医療機器に起因した事故事例等に関して独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する分析・評価結果や他省庁等からの情報をもとに具体的な改善策を検討し、必要に応じて有識者等の意見を聞いた上で、ガイドラインの策定、製品の基準化、関係団体への要請を行うなどの改善策の具体化を図り、医療安全の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		医薬品・医療機器等の名称類似、外観類似、仕様などの「もの」に起因する医療事故やヒヤリ・ハット事例が報告されていることから、これらを幅広く収集・分析することによって「もの」に起因する事例に対して、改善策を検討・実施している。具体的にはフェルセーフ(故障・誤操作時に安全な方に作動)やフールプルーフ(誤操作をしても危険にさらされない)の考えを基に表示やデザインを変更することで、医療事故やヒヤリ・ハット事例の防止に繋がるような製品を医療の場に提供することを目的として、その対策に取り組んでいる。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	5	3	3	3	2	
			補正予算						
			繰越し等						
		計	5	3	3	3	2		
		執行額	1	2	2				
執行率(%)	20%	67%	67%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		医薬品等安全対策部会安全対策調査会の開催数		成果実績	回	8	9	11	10
				達成度	%	133.3%	150.0%	183.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		医薬品等安全対策部会安全対策調査会の開催数		活動実績 (当初見込み)	回	8	9	11	-
						6	6	6	6
単位当たりコスト		47千円/回		算出根拠	医薬品等安全対策部会安全対策調査会に関する会議費支出額(518千円)/医薬品等安全対策部会安全対策調査会の開催数(11回)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.7	0.5	前年度の事業実績を踏まえ、検討会の開催回数を見直したため					
	職員旅費	0.6	0.5	前年度の事業実績を踏まえ、医療機関実地調査回数を見直したため					
	委員等旅費	1.3	1.0	前年度の事業実績を踏まえ、検討会の開催回数を見直したため					
	医薬品審査等業務庁費	0.6	0.4	前年度の事業実績を踏まえ、検討会の開催回数を見直したため					
	計	3	2						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約理由：少額随契のため
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	部会開催予定日を早期に決定して、使用料の生じない共用会議室の確保に努めると共に、部会資料の精査を行い資料作成に係わる経費の節減に努めたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	医薬品等医療安全対策事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
前年度の事業実績を踏まえ、医薬品、医療機器の安全対策に関する検討会開催数を見直し、諸謝金、委員等旅費、職員旅費を削減した(反映額：▲0.7百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）	A.日本盲人職能センター 東京ワークショップ			C.(株)東京ロイヤルホテル 都市センターホテル		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	議事録作成費	医薬品・医療機器等安全対策部会議事録作成のため	0.3	会場借料	医薬品・医療機器等安全対策部会	0.2
	計		0.3	計		0.2
		B.日本航空協会			D.事務費	
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
会場借料	医薬品・医療機器等安全対策部会	0.2	諸謝金	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.5	
			外国旅費	ICH(エストニア)出席に係る外国旅費	0.4	
			委員等旅費	医薬品の安全対策等に関する懇談会の旅費として	0.3	
			職員旅費	医薬品等安全対策調査会等に係る旅費	0.1	
計		0.2	計		1.3	

支出先上位10者リスト

A. 日本盲人職能センター 東京ワークショップ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本盲人職能センター 東京ワークショップ	議事録作成(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.06	随意契約	
2	日本盲人職能センター 東京ワークショップ	議事録作成(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.06	随意契約	
3	日本盲人職能センター 東京ワークショップ	議事録作成(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.06	随意契約	
4	日本盲人職能センター 東京ワークショップ	議事録作成(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.05	随意契約	

B. 日本航空協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本航空協会 航空会館	会場借料(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.2	随意契約	

C. (株)東京ロイヤルホテル 都市センターホテル

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京ロイヤルホテル 都市センターホテル	会場借料(医薬品・医療機器等安全対策部会開催のため)	0.2	随意契約	

D. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	職員のICH(エストニア)出席のための外国旅費として	0.4		
2	委員A	医薬品の安全対策等に関する懇談会の委員等旅費として	0.07		
3	委員B	医薬品の安全対策等に関する懇談会の委員等旅費として	0.07		
4	委員C	医薬品の安全対策等に関する懇談会の委員等旅費として	0.07		
5	委員D	医薬品の安全対策等に関する懇談会の委員等旅費として	0.07		
6	委員E	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.05		
7	委員A	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.05		
8	委員F	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.05		
9	委員G	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.05		
10	委員D	医薬品の安全対策等に関する懇談会出席謝金として	0.05		